ホスピス文献の分析

—NLM Literature Search を利用して—

Analysis of References on "Hospices" —by use of NLM Literature Search—

青 木 仕*

順天堂大学図書館

Aoki, M. : Analysis of References on "Hospices" —by use of NLM Literature Search.— *Igaku Toshokan* 32 (4) : 347-357, 1985.

Five hundred and twenty three references on "Hospices" which were referred in NLM Literature Search No. 79-8 and No. 84-4 were analyzed. These references were published from January 1966 to February 1984.

The following results were obtained :

- 1) There were 238 serial journals and there was no core journal concerning "hospices"
- 2) 238 serial journals were published in 17 countries under 523 titles, of which 162 journals (68.06%) and 361 titles (69.03%) were found in the U. S. A.
- 3) 238 journals were classified under 32 subjects by the NLM classification, of which the most frequent one was "Medical Science-Nurses and Nursing" (57 journals 23.94 %, 147 titles 28.11 %)
- 4) The number of journals on "Hospices" has been increased markedly from 1976 to 1979, and thereafter has been increasing gradually.
- 5) Of the major descriptors, 189 were selected and the most frequent descriptor was "Hospices" which was given to 395 under 523 titles (75.53%).
- 6) Of the number of major descriptors, two were most frequent and given to 205 titles.
Of the number of "All" descriptors six were most frequent and given to 95 titles.
- 7) Of the major descriptors, "Hospices" was more frequent than "Terminal Care" or "Hospitals, Special".
- 8) Of the subheadings which were given to the major descriptor "Hospices", the most frequent one was "Organization & Administration" (124 citations).

I. はじめに

現代医学は延命に対して目覚しい進歩を遂げたが、万人は死から免れることはできない。

高齢化社会が進むなかで、老いのために死を迎える人々や死を前にした末期患者のためにいかにして希望を与え、平安の中に死出の旅につかせるかは以前よりいっそう切実な問題になりつつある。こうした人々の

ために肉体的ケアのみならず、精神的ケア、社会的苦痛へのケアをも併せて考える必要性がおこって来ている。近年、我国でもホスピス・ケアが注目され始めている。¹⁾ ホスピスに関してテレビ、雑誌、新聞等一般報道がなされるなかで、学術文献上ではどのような動向になっているか興味を持った。このような調査は、過去にイギリスにおいて Barbara Greenall が1976-1981年を対象に詳細な報告をしている。²⁾

今回、医学関係の関心事やトピックス的なテーマに関しての文献がまとめてある National Library of Medicine Literature Search (以下 NLM Literature

* Manabu AOKI : Juntendo University Library 2-26, 2-chome, Bunkyo-ku, Tokyo 113, Japan
(昭和60年11月5日 受理)

Search) に2回にわたって掲載されていた, ホスピス関連文献523件について, その雑誌の分析とホスピス文献に付与されていた Descriptor の調査を試みたのでここに報告する。

II. ホスピスについて

ホスピス (Hospices) とはラテン語の *hospitium* が語源であり, 歓待, 宿所, 宿屋の意味である。「オックスフォード辞典」によれば, 巡礼者, 旅行者, 他国者, 貧困者, 病人たちを休ませ, 歓待する家と説明している。中世のヨーロッパでは旅に疲れた人々のためにカトリック修道会が設けた無料宿泊所をホスピスと呼び, しだいに病人, 貧困者たちを世話するところをホスピスと呼ぶようになった。そして, 19世紀のアイルランドのダブリン修道女会の創立者 Mary Aikenhead によって, 末期患者のケアを専門にする施設が今日のホスピスの始まりであるといわれている。³⁾⁴⁾ 現在ではイギリス, アメリカ, オーストラリアなどに広まり, イギリスのマリー・キュリー財団をはじめ, 施設の多くは慈善団体により運営されている。現在のホスピスは各種の宗教と密接な関係をもっている。今世紀初頭には結核患者のケアであったが, 現在ではおもに末期癌患者を対象にしたケアが行なわれている。⁵⁾ ホスピス医療の特徴は, 末期患者の4つの痛みを緩和することである。① Physical pain, 身体的痛み特に末期癌患者などの場合, モルヒネ, コカイン等を投与し疼痛を緩和する。② Mental pain, 不安, 恐れ, 孤独などの精神的痛みに対しての心のささえをする。③ Social pain, 病気になったために起こる経済的, 家庭的問題や人間関係など社会的痛みに対しての助言をする。④ Spiritual pain, 死や死後の世界をどう考えるかなど信仰的痛みに対しての援助をする。などがホスピス医療の基盤である。我国でも現在, 淀川キリスト教病院, 聖隷三方原病院などが存在する。⁶⁾

III. NLM Literature Search と調査方法

NLM Literature Search は主に MEDLINE を用

い, テーマによっては他のデータベースも併用して文献検索をしたなかから, 広く興味深いテーマを選んで, リプリントしたものである。1980~1984年の5ヶ年間を調査してみると, 年間30冊 (30テーマ) 程が刊行され, 収載文献は最近3ヶ月前のものから過去10年前の文献に分布し, 収載期間は平均4年6ヶ月であった。162冊 (146テーマ) が刊行され, 合計38,816文献が掲載されている。そのなかで特に注目されるテーマとしては, Acquired Immunodeficiency Syndrome (AIDS) が6冊, 2,177文献が掲載されていた。ホスピスは No. 84-4 の1件で421文献が掲載されている。162冊のテーマを NLMC を用いて分類してみると, 34主題分野に分類され, その結果から医学全般から広くテーマを選択していることが判る。最も多かった主題分野は, 薬理学関係で25冊を占めていた。刊行されていなかった主題分野は, 人体解剖学, 寄生虫学, 臨床病理学, 眼科学, 医学史の5主題分野のみであった。作成者 (検索者) は22名が抽出され, NLM の Charlotte Kenton が78冊を作成し最も多く, テーマによってはその分野の専門家が作成を行っていた。

今回の調査対象文献は, NLM Literature Search No. 78-8 の92文献と No. 84-4 の421文献合計523のホスピス文献である。No. 79-8 は Patricia E. Healy が主に MEDLINE を用い作成にあたり, 収載文献は1966年1月から1979年5月までの文献である。No. 84-4 は, Library of the American Hospital Association の Susan Bolda Marshall がデータベースの HEALTH PLANNING AND ADMINISTRATION, BIOETHICS, AVLINE を用い作成にあたり, 収載文献は1979年6月から1984年2月までの文献である。No.84-4 では, Editorials, News, Letters, Interviews は除外してあり, そして英文のみの文献である。

調査方法は上記のホスピス文献をコピーし, 1件ごとハサミで切断し, 標準図書カードに貼り基礎カードを作成した。Ulrich's International Periodicals Directory (以下 Ulrich's) を参考資料とし, 基礎カードに雑誌の主題分類 DDC No., 発行国を追記し基本カードとした。そしてホスピス文献の雑誌調査①雑誌ランキング②発行国分布③主題別分布④年代推移と, ホスピス

文献に付与されていた Descriptor 調査① Major Descriptor ランキング② 1 文献当たりの Major Descriptor 数と All Descriptor 数の分布③ Descriptor の年代推移④ Descriptor 「Hospices」の Subheading 数の推移について、各調査項目ごとに配列し集計した。

IV. 調査結果

1. ホスピス文献雑誌調査結果

1) 雑誌ランキング

ホスピス文献523件について雑誌ランキングを表1に示す。表1は左から順位、雑誌名、発行国、主題、件数、件数の百分比の順で表示してある。53位は2件で同順位のものが43誌あったことを意味する。1位は誌名 Caring で発行国はアメリカ、主題は Nursing で22件(4.21%)である。2位は同様に Nurs Times—イギリス—Nursing と Hospitals—アメリカ—Hospitals が共に15件(2.87%)であった。合計238誌が抽出され、その結果から特定雑誌へのホスピス関連文献の集中が見られず、多くの雑誌へと分散していることが判る。

2) 発行国分布

ホスピス文献523件について発行国分布を図1に示す。図1は件数について★印を10件＊印を1件と表し

ている。抽出された238誌は17ヶ国から発行され、1位アメリカ162誌361件(69.03%)、2位イギリス24誌77件(14.72%)、3位カナダ11誌19件(3.63%)と続き、本国発行誌は10位3誌3件(0.58%)であった。図1からホスピス文献は特にアメリカ、イギリスに集中して発行されていることが判る。

3) 主題別分布

抽出された238誌について、その主題別分布を Ulrich's を用い分類し表2に示す。表2は、主題、雑誌数、件数、件数の百分比、件数／雑誌数の順で示してある。全体で32主題に分類され、うち不明12誌16件であった。1位は主題が Medical Science—Nurses and Nursing で57誌147件(28.11%)であった。以下同様に Medical Science 73誌145件(27.73%)、3位 Hospitals 27誌91件(17.41%)と続く。上位3主題の合計は、雑誌数において157誌(65.97%)、件数において383件(73.25%)と多くを占めていた。そして、Psychology, Public Health and Safety, Pharmacy and Pharmacology, Gerontology and Geriatrics が10件以上の上位にあげられた。

表2のデータをもとに主題別分布図を図2に示す。図2は縦軸に件数を横軸に DDC No.を表示してある。図2から616, 617番台の医学系が多くを占め、次に300番台の病院、社会福祉、そして150番台の心理学などが

図1. Hospice 文献雑誌の発行国分布

表 1. Hospice 文献の雑誌ランキング

順位	誌名	発行国	主 題	件 数	%
1.	Caring	U.S.A.	Nursing	22	4.21
2.	Nurs. Times	U.K.	Nursing	15	2.87
2.	Hospitals	U.S.A.	Hospitals	15	2.87
4.	Hosp. Prog.	U.S.A.	Hospitals	13	2.49
5.	Nurs. Mirror	U.K.	Nursing	11	2.10
6.	Death Educ.	U.S.A.	Psychology	9	1.72
7.	Am. J. Nurs.	U.S.A.	Nursing	8	1.53
8.	Am. Pharm.	U.S.A.	Pharmacy	7	1.34
8.	Am. Psychol.	U.S.A.	Psychology	7	1.34
8.	Br. Med. J.	U.K.	MS*	7	1.34
8.	Nurs. Outlook	U.S.A.	Nursing	7	1.34
8.	Q.R.B.	U.S.A.	Hospitals	7	1.34
13.	Aust. Nurses J.	Australia	Nursing	6	1.15
13.	Cancer Nurs.	U.S.A.	Nursing	6	1.15
13.	Fam. Community Health	U.S.A.	Public Health	6	1.15
13.	Hosp. Forum	U.S.A.	Hospitals	6	1.15
13.	Hosp. Med. Staff	U.S.A.	Hospitals	6	1.15
13.	J.R. Coll. Gen. Pract.	U.K.	MS	6	1.15
13.	Lancet	U.K.	MS	6	1.15
13.	NZ. Nurs. J.	New Zealand	Nursing	6	1.15
21.	Bull. Am. Protestant Hosp. Assoc.	U.S.A.	Hospitals	5	0.96
21.	Can. Med. Assoc. J.	Canada	MS	5	0.96
21.	Minn. Med.	U.S.A.	MS	5	0.96
21.	Nursing	U.S.A.	Nursing	5	0.96
21.	Oncol. Nurs. Forum	U.S.A.	Nursing	5	0.96
26.	Bull. Am. Coll. Surg.	U.S.A.	Surgery	4	0.76
26.	Contemp. Adm.	U.S.A.	Hospitals	4	0.76
26.	J. Am. Geriatr. Soc.	U.S.A.	Geriatrics	4	0.76
26.	J. Fam. Pract.	U.S.A.	MS	4	0.76
26.	J. Long Term Care Adm.	U.S.A.	Hospitals	4	0.76
26.	Long Term Care Health Serv. Adm. Q.	U.S.A.	Public Health	4	0.76
26.	Mich. Med.	U.S.A.	MS	4	0.76
26.	NZ. Med. J.	New Zealand	MS	4	0.76
26.	NY. State J. Med.	U.S.A.	MS	4	0.76
26.	Prog. Clin. Biol. Res.	U.S.A.	MS	4	0.76
26.	Practitioner	U.K.	MS	4	0.76
37.	Am. Nurse	U.S.A.	Nursing	3	0.57
37.	Bus. Insur.	U.S.A.	Insurance	3	0.57
37.	Conn. Med.	U.S.A.	MS	3	0.57
37.	Employ. Benefit Plan Rev.	U.S.A.	Business and Economics	3	0.57
37.	Hastings Cent. Rep.	U.S.A.	Biology	3	0.57
37.	Health Soc. Serv. J.	U.K.	Hospitals	3	0.57
37.	Health Soc. Work	U.S.A.	Social Services	3	0.57
37.	Home Health Care Serv. Q.	U.S.A.	Hospitals	3	0.57
37.	J. Gerontol. Nurs.	U.S.A.	Gerontology	3	0.57
37.	J. Med. Ethics	U.K.	MS	3	0.57
37.	Med. Care	U.S.A.	MS	3	0.57
37.	Mod. Health Care	U.S.A.	Hospitals	3	0.57
37.	N. Engl. J. Med.	U.K.	MS	3	0.57
37.	Postgrad. Med. J.	U.K.	MS	3	0.57
37.	Sykepleien	Norway	Nursing	3	0.57
37.	Tex. Hosp.	U.S.A.	Hospitals	3	0.57
53.	AMHC Forum			2 (43)	16.44
96.	AARN News Lett.			1 (143)	27.34
	Book			1	0.19
Total				523	100.00

*MS = Medical Science

目立っている。

4) 年代推移

ホスピス文献の年代推移を図3に示す。図3は年度別の総件数と、表2の主題別分布で多くを占めていた

上位3主題（Medical Science-Nurses and Nursing, Medical Science, Hospitals）とその3主題以外をその他とする4項目に分け、縦軸に件数を横軸に発行年をそれぞれ折れ線グラフで示してある。図3から総件数、

表2. Hospice文献の主題別分布

Ulrich's Classified List of Periodicals/Subjects	雑誌数 (1)	件数 (2)	%	(2)/(1)
MS-Nurses and Nursing	57	147	28.11	2.58
MS	73	145	27.73	1.97
Hospitals	27	91	17.41	3.37
Psychology	3	18	3.44	6.00
Public Health and Safety	9	18	3.44	2.00
Pharmacy and Pharmacology	6	13	2.49	2.17
Gerontology and Geriatrics	6	12	2.29	2.00
Social Services and Welfare	6	9	1.72	1.50
MS-Surgery	4	7	1.34	1.75
MS-Cancer	4	6	1.15	1.50
MS-Pediatrics	4	5	0.96	1.25
MS-Psychiatry and Neurology	4	4	0.77	1.00
Insurance	2	4	0.77	2.00
Biology	1	3	0.57	3.00
Business and Economics – Labor Industrial Relations	1	3	0.57	3.00
Law	2	3	0.57	1.50
Political Science	3	3	0.57	1.00
MS-Forensic Sciences	1	2	0.38	2.00
MS-Otorhinolaryngology	1	2	0.38	2.00
MS-Radiology and Nuclear Medicine	2	2	0.38	1.00
Physical Fitness and Hygiene	2	2	0.38	1.00
MS-Dentistry	1	1	0.19	1.00
Food and Food Industries	1	1	0.19	1.00
General Interest Periodicals – United States	1	1	0.19	1.00
Nutrition and Dietetics	1	1	0.19	1.00
Management of Public Households	1	1	0.19	1.00
Religions and Theology	1	1	0.19	1.00
Public Administration – Municipal Government	1	1	0.19	1.00
Science: Comprehensive Works	1	1	0.19	1.00
不 明	12	16	3.06	1.25
Total	238	523	100.00	

MS: Medical Science 略

図2. Hospice 文献の主題別分布図

図3. Hospice 文献の年代推移

4項目とも1976年から1979年にかけて急増し、その後も漸増傾向にあることが明確である。

2. ホスピス文献に付与されていた Descriptor 調査結果

1) Major Descriptor ランキング

ホスピス文献523件について、どのような Major Descriptor が付与されているか、そのランキングを表3に示す。表3は、順位、Major Descriptor 名、個数、523件中に占める各個数の百分比の順で表示してある。20位は Major Descriptor 数は5個で、同順位のものが7種類あったことを意味する。全体で189種類の Major Descriptor が抽出され、合計1,304個であった。1

位の Major Descriptor は Hospices であり、523件中 395個 (75.53%) に付与されていた。2位 Terminal Care 250個 (47.78%), 3位 Hospitals, Special 98個 (18.74%) と続き、上位3種類の Major Descriptor の合計個数は743個で1,304個中の (56.98%) を占めていた。以下、20個以上の Major Descriptor は、Home Care Services, Neoplasms, Attitude to Death, Palliative Treatment, Health Insurance for Aged and Disabled, Title 18 と続く。

2) 1文献当たりの Major Descriptor 数と All Descriptor 数分布

1文献について何個の Descriptor が付与されてい

表3. Major Descriptor ランキング

順位	Major Descriptor	個数	個数/523 × 100
1.	Hospices	395	75.53
2.	Terminal Care	250	47.78
3.	Hospitals, Special	98	18.74
4.	Home Care Services	63	12.05
5.	Neoplasms	39	7.46
6.	Attitude to Death	29	5.54
7.	Palliative Treatment	23	4.40
8.	Health Insurance for Aged and Disabled, Title 18	22	4.21
9.	Patient Care Team	13	2.49
9.	Nursing Care	13	2.49
11.	Ethics, Medical	9	1.72
12.	Hospital Units	8	1.53
13.	Health Services Research	7	1.34
13.	Hospital Planning	7	1.34
13.	Nursing Staff	7	1.34
13.	Stress, Psychological	7	1.34
17.	Family	6	1.15
17.	Insurance, Health	6	1.15
17.	Voluntary Workers	6	1.15
20.		5 (7)	
27.		4 (10)	
37.		3 (15)	
52.		2 (38)	
90.		1 (100)	
Total		1304	

るか図4に示す。図4は縦軸に件数、横軸に Descriptor 数を Major Descriptor を実線で、All Descriptor を点線の折線グラフで示してある。図4から Major Descriptor 数では1個84件、2個205件、3個144件、4個78件、5個11件、6個2件で、2個付与されていたものが最も多く523件中(39.20%)を占めていた。次に、All Descriptor 数の分布では2個11件から漸増

図4. 1文献当たりの Major Descriptor 数と All Descriptor 数分布

し、6個95件(18.16%)が最も多く、なかには23個も付与されていたものが1件あった。延べ数は3,604個であった。

3) Descriptor の年代推移

表3の Major Descriptor ランキングで上位3種類の Descriptor (Hospices, Terminal Care, Hospitals, Special) について、ホスピス文献が著しい増加を示した1976年から1983年までの8年間を対象にして、どのように変化したかを図5に示す。図5は、縦軸に各年度に発行されたホスピス文献の総件数に対しての百分比を、横軸に発行年を折線グラフで示してある。図5から Terminal Care, Hospitals, Special は減少し、そのかわりに Hospices が多く付与され始めてきたことが判る。

4) Descriptor 「Hospices」の Subheading 数の推移

最後に Descriptor 「Hospices」にどのような Subheading が付与されているか表4に示す。表4は1976年から1983年までの8年間を対象にし、Subheading について件数の多い順に上から表示してある。Hospices (N2. 278. 421. 556. 210) は Classification, Economics, Education, History, Legislation & jurisprudence, Manpower, Methods, Organization & administration, Standards, Supply & distribution, Tren-

表4. Descriptor “Hospices” の Subheading 数の推移

Subheading の種類	76	77	78	79	80	81	82	83	Total
Organization & Administration			6	31	24	24	21	18	124
Economics			4	7	2	7	15	18	53
Trends			1	7	11	2	3	4	28
Standards			1	2	3	2	9	10	27
Legislation & Jurisprudence				1	2		5	8	16
Manpower				4	2		1	1	8
Utilization				1	1	1	3		6
Supply & Distribution		1		1		2			4
History				2			1		3
Total		1	12	56	45	38	58	59	269
なし	1	15	29	27	26	37	23	33	191
Grand Total	1	16	41	83	71	75	81	92	460

図5. Descriptorの年代推移

ds, Utilization以上12種類のSubheadingと伴ってkeywordとして用いることができる。今回の調査では9種類のSubheadingが抽出され、Organization & administrationが124件と最も多くを占めていた。以下Economics53件、Trends28件、Standards27件、Legislation & jurisprudence16件と続く。なかにはSubheadingが2, 3種類重複して付与されている文献もあった。Subheadingが付与されているDescriptor「Hospices」は1979年に急増し、その後大きな変化は認めない。Subheadingが付与されていないDescriptor「Hospices」は1977年から1978年を境に増加していることが判った。

V. 考 察

雑誌ランキングではホスピス文献523件に対し、238誌が抽出され、特定のCore Journalは存在せず「ブラッドフォードの分散則」⁷⁾にみられるような曲線は認められなかった。NLM Literature Search No.84-4はデータベースを主にHEALTH PLANNING

AND ADMINISTRATIONを用いたため、1位のCaringを始め上位20誌中I. M. (1985年版)未収載誌が11誌も占めている。このデータベースは衛生管理の実施に関する非臨床的側面を扱う文献を収録しており、Hospital Literature Indexがベースのため、I. M.未収載誌が多数含まれたと考えられる。発行国分布においては、アメリカとホスピス発祥の地であるイギリスの雑誌が多くを占めている。国内雑誌はNLM Literature Search No.79-8に収載されていた、Craven J, Wald FS著：看護研究10(5)：398-405, 1977., 柏木哲夫著：日本臨床Suppl. 1792-1973, 1978., 季羽倭文子著：看護展望3(6)：12-17, 1978.の3誌のみであった。主題別分布は看護学はもとより医学一般、病院学、心理学、社会福祉、薬理学、老年学などが、当然のことながら雑誌数、件数共に多くを占めている。しかし、34主題と広い主題分野の雑誌に分散していたことは予想外の結果であった。この結果からホスピスは、広範囲な学問領域から研究対象になっていることが判る。Barbara Greenall²⁾は、ホスピス文献収載雑誌を5項目(Medical journals, Nursing journals, Health care journals, Other subject journals, Newspapers)に分け、イギリス、アメリカ両国の比較を試みている。この結果イギリスではNursing journalが、アメリカではHealth care journalがそれぞれ高値を示し、両国間においてホスピス文献収載雑誌に相違があるという興味ある報告をしている。年代推移においては1977年を境に文献数の急激な増加がみられた。MeSH TermとしてHospicesがHospitals, Specialから分離し、1977年8月から採用されておりこの状況と一致する。しかし1979年以降著しい増加はみられていない。1文献当たりのMajor Descriptor数とAll Descriptor数分布においては、Major Descriptorでは2個、All Descriptorでは6個がそれぞれ最も多くを占めていた。「1文献当たりの索引語の数は平均12個のDescriptorにCheck Tagを加えたもので、最高25個まで付与する。この中のMajor Descriptorは2または3個とする。但し、1981年以降はDescriptorの数を平均8-10個に減少させている。」という小松の報告⁸⁾と同様な結果が得られた。Descriptor「Hospices」の推

移においては、Subheading を伴わない Hospices が増加した年度より、1～2年後から Subheading を伴った Descriptor「Hospices」の急増が認められた。今後、New MeSH Term と Subheading の付与率の関係について興味を持たれるところである。Subheading の種類は、組織と管理、経済、基準、法制と法学、利用などが増加していた。この結果から、次第にホスピス活動が具体化し、現実的に展開されつつあることが伺われる。

VI. 要 約

今回、NLM Literature Search No.79-8, No.84-4 双方に掲載されていたホスピス文献523件を対象にして、定量的調査を行ない次のような結論を得た。

(1)雑誌ランキングは523文献中238誌が抽出された。1位は Caring で22件(4.21%)と低値であり、ホスピス文献中には Core Journal は認められなかった。

(2)発行国分布は238誌が17ヶ国から発行され、1位はアメリカで162誌361件(69.03%)と抜きん出ている。2位はホスピス発祥の地イギリスで24誌77件(14.72%)であり、両国発行誌が多くを占めていた。

(3)主題別分布は238誌を NLMC を用いると、32主題分野に分類された。1位は主題分野は、Medical Science-Nurses and Nursing で57誌147件(28.11%)であり、以下 Medical Science, Hospitals が多くを占めていた。そして、DDC 番号616, 617番台の医学系の雑誌が多くを占め、次に300番台の病院、社会福祉、150番台の心理学などが際立っている。

(4)ホスピス文献の推移は、1976年から1979年にかけて急増し、その後も漸増傾向にある。

(5)Major Descriptor ランキングは189種類の Major Descriptor が抽出され、1位は Hospices であり523件中395個(75.53%)に付与されていた。

(6)1文献当たりの Major Descriptor 数と All Descriptor 数分布は、Major Descriptor 数の付与率は、2個205件が最も多くを占めていた。All Descriptor 数の付与率は、6個95件が最も多くを占めていた。

(7)1976年から1983年の Descriptor の年代推移は、

Terminal care, Hospitals, Special に変わって Hospices が増加していた。

(8)Descriptor「Hospices」に付与されていた Subheading 数の推移においては、9種類の Subheading が抽出された。Organization & administration が124件と抜きん出ている。以下 Economics, Trends, Standards, Legislation & jurisprudence が多くを占めていた。Subheading を伴わない Descriptor「Hospices」が増加した年度より、1～2年後から Subheading を伴った Descriptor「Hospices」の急増が認められた。

VII. おわりに

我国でも急速な高齢化社会が進むなかで、ホスピスの存在は今後注目されていくことだろう。敗戦直後国民の90%以上が自宅死であったが、今日では死をむかえる場所として病院58.6%, 診療所4.5%, 自宅32.1%, その他4.8%であり、すでに自宅死が3分の1以下に減っている。⁹⁾大都市周辺では70%以上が病院で死をむかえている。医療者側の関心はもっぱら Cure(治療)におかれ、死を前にした末期患者の Care(看護)については、医療の本質の対象ではないとする考え方が中心を占めていた。しかし、質や価値が国民の関心となりつつある現在、これらのニーズに答える援助が末期医療「やすらかな死」へのあり方として今後重要視されるだろう。しかし、我国では現在、プロテスタント系病院の付属病棟型の2病院が存在するのみである。将来宗教的基盤が薄い日本で、ホスピス活動がどのように展開されていくものか注目される。

本稿は今年6月1日、2日の両日、大阪歯科大学で開催された、第2回図書館情報サービス研究大会においての発表に加筆したものである。最後に本稿を終るにあたり、ご指導ご助言をいただいた当館の兼岩健二氏に深く感謝いたします。

参 考 文 献

- 1) Kenneth P. Cohen 著 齊藤武, 柏木哲夫訳: ホスピス—末期医療の思想と方法—東京, 医学書院,

- 1982.
- 2) Barbara Greenall : Development of the United Kingdom Hospice Movement, 1976-1981. Occasional Publication. No. 6, 1982.
 - 3) 原義雄, 千原明: ホスピス・ケア看取りの医療への提言一, 東京, メディカルフレンド社, 1983.
 - 4) Stoddard, S. 著 高見安規子訳: ホスピス・ムーヴメント〜よりよき生のために〜, 東京, 時事通信社, 1982.
 - 5) 沖藤典子: 平安なれ命の終りーホスピス病棟からの報告一, 東京, 新潮社, 1982.
 - 6) 池見酉次郎, 永田勝太郎: 日本のターミナル・ケア, 末期医療学の実践, 東京, 誠信書房, 1984.
 - 7) Bradford, S. C. : Documentation. London, Lookwood & Son, 1953. p. 144-159.
 - 8) 小松三蔵: Index Medicus の索引と DIALOG の MEDLINE での利用, 医学図書館, 30(1): 36-46, 1983.
 - 9) 厚生省大臣官房統計情報部編: 人口動態統計. 中巻, 第8表. 死亡数性死亡の場所, 東京, 厚生統計協会, 1985.

*

*

*